学校番号	１１０１

令和８年度　工業科

教科	工業	科目	建築法規	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	建築法規　（実教出版）						
副教材等	法令集						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

建築法規を学ぶにあたっては、建築士が設計図書を作成する際、公正かつ誠実に業務を行い、建築物が関係する法規に適合するように設計することを理解する必要があります。建築法規にはさまざまな種類があり、それらすべてを身につけることが重要です。建築物を設計する場合、日常生活でみられる構造物を観察し、構成や形状を考える習慣を身につける必要があります。また建築物をつくり出すためのさまざまな知識や法規などについて、理解を深めていくように学習してください。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】
工業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
工業に関する課題を発見し，職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
職業人として必要な豊かな人間性を育み，よりよい社会の構築を目指して自ら学び，工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	建築法規の各分野に関する基礎的・基本的な技術を身につけ、環境に配慮し、合理的に建築設計を行い、その技術を適切に活用している。	建築法規に関するさまざまな課題の解決をめざして思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に技術者として適切に判断し、表現する能力を身につけている。	建築法規に関する課題について強く興味・関心を持ち、その改善・向上をめざして自主的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	建築法規のあらまし	建築法規の起源 建築法規の意義 法規の体系と建築基準法 建築基準法の基本用語	a:法律の全体に関係する内容を理解している b:建築と法律が密接に影響していることを考察している c:興味関心を持ち意欲的に取り組んでいる	定期考査 レポート 確認テスト	確認テスト ワークシート 提出ノート	授業態度 振り返りシート 自己評価
後期	建築物にかかる規定	一般構造についての規定 構造強度についての規定 都市計画法 消防法 建築士法 建設業法	a:建築に必要な手続きなどを理解している b:建築法規が生活に影響していることを考察している c:興味関心を持ち意欲的に取り組んでいる	定期考査 レポート 確認テスト	確認テスト ワークシート 提出ノート	授業態度 振り返りシート 自己評価

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度